

NAIS 特別講演会「松下電器におけるIT経営革新」レポート

支部長 上田 治文

松下電器産業株式会社 本社 情報企画グループ グループマネージャー の矢島孝應氏を招いて、NAIS 特別講演会が6月12日(火)に京都情報大学院大学百万遍キャンパスで開催された。



当日は NAIS 会員をはじめ京都情報大学院大学、京都コンピュータ学院の学生を含む約 70 名が参加し、松下電器がITを活用しての経営改革でいかに2001年の営業赤字から2006年度は4600億円の黒字に回復させたかの講演に聞き入った。経営改革以前の松下グループ内では競合があり経営リソースが分散し、重くて遅い体質であったのを、中村新社長(当時)の強いリーダーシップ



で「顧客満足・価値の追求」「軽くて速い経営の実現」「創造的時間の創出」を実行し、大型フラットテレビ等のヒット商品を生み出し業績を回復させた。

特に、ITと経営を研究する私たちにとって興味深かったのは、経営トップ自らが「IT革新なくして経営改革なし」とIT革新を推進し上記の経営改革を実現した点である。その背景には、中村新社長(当時)のアメリカ松下での経営経験があり、それをベースに日本のグローバル企業のあるべき経営管理システムを構築されたのであろう。